



2026年3月18日

各 位

令和アカウンティング・ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 繁 野 径 子  
(コード番号：296A 東証グロース)  
問 合 せ 先 常務執行役員業務管理本部長 田 口 英 亮  
TEL. 03-3231-1935

### 株式会社ミラクル経理の事業進捗について

当社子会社の株式会社ミラクル経理が提供するAI資産判定ソリューション「ミラクルX」は、2025年11月のリリース以降、多くの企業様より高い関心を寄せていただいております。現在、既に複数の大企業クライアント様とのご契約に至り、導入プロジェクトを開始しております。

受注が好調な背景には、企業のAI推進、経理DX推進が加速する一方で、「固定資産判定」という特殊な領域に課題が集中していることがあります。この業務は、明確な詳細ルールが乏しく企業固有の判断が求められる上、会計・税務・建築等の高度な専門知識を必要とします。そのため、適切なソリューションが市場に不在でした。

現在、多くの大企業様と協議を進める中で、AI資産判定ソリューション「ミラクルX」の優位性を改めて確信しております。

本プロダクトは、当社の専門性を踏まえAIを駆使（特許出願中）して会計・税務処理に必要な情報を網羅しつつ、圧倒的な使いやすさを実現した唯一無二の存在です。実務に即したこの独自の価値こそが、大企業様から高く評価されている要因と考えております。

今後の展望についても、引き合いの質・量ともに手応えを感じております。潜在的な市場は1,000億円規模とも推計される（2025年10月30日開示『ミラクル経理 AI会計システム「ミラクルX」、資産判定機能「X1」の概要について』参照）この広大な領域において、大企業向けのAI資産判定システムという性質上、1案件あたりの受注規模が年間数千万円に達するケースも想定されるなど、高い収益性を見込んでおります。

2026年度は営業体制をさらに強化し、グループ一丸となって事業拡大と企業価値の向上に邁進してまいります。AI資産判定機能に続き、経理DXに資するミラクルXシリーズのX2以降、AIエージェント搭載の基幹会計システムであるミラクルAの開発も進めておりますのでご期待ください。

以上